

令和2年度 第3回学校運営協議会 議事概要

- 1 日時 令和3年2月12日（金）
開会 10時00分 閉会 11時30分
- 2 場所 岡山県立玉野高等学校会議室
- 3 出席者
- | | | | | | |
|----|-----|-----|----|-----|-----|
| 委員 | 五老海 | 正 登 | 委員 | 西 川 | 竜 馬 |
| 委員 | 稲 田 | 秀 知 | 委員 | 福 本 | 泰 久 |
| 委員 | 恵 谷 | 栄 一 | 委員 | 藤 原 | 直 之 |
| 委員 | 大 塚 | 雅 嗣 | 委員 | 山 崎 | 裕 正 |
| 委員 | 田 中 | 久 美 | 委員 | 山 根 | 一 人 |
| 委員 | 豊 田 | 啓 介 | 委員 | 山 多 | 也 |
- 事務局 教 頭 橋 本 文 彦
主幹教諭 守 屋 泰 志
事務長 立 野 弥 生

4 議事の概要

開会

(1) 説明

主幹教諭が、学校自己評価アンケート結果、学校経営計画及び目標達成に向けた具体的方策の取組状況及びその評価について説明した。

(2) 評価についての協議及び承認

学校が示した評価原案について協議し、いずれも原案どおり承認された。

(3) 意見交換

今年度の取組、来年度以降の学校経営計画の策定について意見交換した。

【アンケート結果及び評価原案について】

- 教職員のアンケート回収率が100%でないのは良くない。「チーム玉野」で頑張ってもらいたい。
- 中間評価から最終評価に向けて評価が下がった項目については、対策が必要である。
- 在校生の満足度が高いのは良いことである。

【来年度学校経営計画策定に向けて】

- 玉高を目指して来た生徒は満足しているが、定員を満たしていないということは、入口のところでは満足を与えていないことになる。来年度からの単位制を、選択科目の拡大という視点だけではなく活用して欲しい。自分なりの時間割が作れるようにして、難関校をターゲットとしたコース等で魅力化するのが良い。
- 普通科であっても、皆が同じ事をするばかりでなくもっと多様性があっても良い。
- 個性にあふれた生徒を育成して欲しい。
- 「玉高では自宅学習はさせません。授業でしっかり教えます。学校外では他のことに時間を使いなさい」ぐらいのメッセージでも良いのではないか。
- 大学入試で重視される観点などが変化している実態を中学校教員へも伝えてもらえば、指導の仕方も変わるかもしれない。

【玉高の魅力、PRについて】

- アウターブランディングが志願者数に影響するので、市内の中学生やその保護者が持つ玉高のイメージを把握することが大切である。
- 玉高には特徴的で魅力的な先生方がたくさんいるので、もっと自信を持ってPRして欲しい。
- 近隣の塾からは、丁寧な指導をしてくれる学校であると評価をもらっている。R3年度からの「特別進学グループ」については、「少人数で徹底した指導が必要」との助言があった。

閉会